

令和2年度 水路技術奨励賞（第35回）

少壮の水路技術者の研究開発意欲を振興し、我が国の水路技術の進歩・発展に寄与することを目的として、昭和61年に「水路技術奨励賞」の基金を設け、毎年優れた業績を残した方にこの賞を贈っています。

今年度は令和3年1月15日に水路技術奨励賞選考委員会幹事会、令和3年3月4日に水路技術奨励賞選考委員会において受賞者を選考し、1件6名の方に水路技術奨励賞をお贈り致しました。

受賞者は以下のとおりで、業績は次号でご紹介いたします。（敬称略）

1. 高性能航行型AUVの開発

受賞者：

（国研）海上・港湾・航空技術研究所

海上技術安全研究所海洋先端技術系

岡本 章裕

〃

谷口 友基

〃

佐藤 匠

〃

平尾 春華

〃

稲葉 祥悟

〃

梅田 隼

内 容：

超小型AUVの開発により制御アルゴリズムの高度化、操縦プログラムの高精度化を図り、新たに開発した高性能航行型AUVを用いて複数同時運用による海洋調査の効率化を実現し、実践的な海底探査技術開発に大きく貢献した。

水路技術奨励賞表彰式

令和3年3月18日 KKRホテル東京「白鳥の間」



表彰状授与



縄野会長（左）と岡本さん（右）

※ 今年度の表彰式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、受賞者の中から代表者1名にご出席いただきました。